

(様式1)

令和4年度指定管理者による公の施設の管理状況評価表

1 施設名 (所管課)
県民公園頼成の森 自然保護課

2 施設所在地
砺波市頼成156

3 施設設置年度
昭和50 年度

4 設置目的
県民公園の自然風致公園として、県民に森林を生かした休養、レクリエーションの場を提供することを目的として設置された公園で、森林と花しょうぶ園の適切な管理を行うとともに、森林学習の場として森林科学館の有効活用を図る。

5 施設概要
・敷地面積
115ha
・主な施設
森林科学館：木造平屋建て 361.164㎡
水生植物園：約6ha 花しょうぶ（600品種、70万株）
遊歩道：総延長13.4km
展示林（第20回全国植樹祭会場跡地）
バーベキュー施設：8人用10卓

6 指定管理者
公益財団法人 花と緑の銀行

7 指定期間
5 年
平成30年4月1日 ~ 令和5年3月31日

8 利用者数及び利用（使用）料金収入の状況

(1) 利用者数（人）

H30	R1	R2	R3	R4
153,609	158,634	111,215	128,769	147,388

(2) 利用（使用）料金収入（千円）

H30	R1	R2	R3	R4
—	—	—	—	—

【参考】 利用料金収入見込み額（利用料金制導入施設の場合）

H30	R1	R2	R3	R4
—	—	—	—	—

9 評価項目

(1) 利用者数・収入の増減に対する評価

目標値は、入園者数160千人、花しょうぶ祭り60千人である。令和4年度の入園者数は147,388人、花しょうぶ祭り52,496人で、いずれも目標値を達成することができなかった。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響下で、入園者数は対前年比114%、祭り入場者数は対前年比119%と、回復の兆しが見られたことは評価できる。

花しょうぶ祭りは、新型コロナウイルス感染症対策を実施しながら、縮小していたイベントも、ほぼコロナ前に戻して開催された。マスク着用、手指消毒、体温測定のお願いや飲食テーブル等の消毒を実施した結果、クラスターなどの発生も起きなかった。

(2) サービス向上に向けた取組み

より開かれた県民公園とするため、夏休みの子ども向けイベントを充実するとともに、森林科学館内展示の更新や周囲の花壇の整備を行った。

トイレを利用しやすくするため、洋式化や衝立、間仕切りを新しく設置するなどの整備を行った。

(3) 利用促進（収入増）に向けた取組み

イベント情報をより多くの県民が得られるよう、パンフレットを砺波市内の全ての幼稚園・保育園、市外の児童施設や道の駅等に配布するとともに、ホームページ、ブログ（頼成の森だより）によって、頼成の森の自然イベント情報をリアルタイムで提供した。

(4) 利用者のニーズ把握や苦情への対応

① アンケート結果

実施方法	通年、森林科学館にアンケートボックスを設置
回答者数	24件
結果	「ドングリなどの工作ができて楽しい」「緑が一杯で気持ちが良い」など好意的な意見がほとんどであった。
結果を踏まえた改善事項	

② その他利用者の声を反映させる取組み

イベント参加者や森林科学館入館者などへのあいさつ、声掛けを積極的に行い、率直な意見を頂けるよう努めている。

③ 主な苦情と対応

遊歩道に落枝・倒木→逐次、撤去

(5) 個人情報保護の取組み

個人情報に関する指針を定めて職員に周知を図っており、適切な個人情報保護が図られている。

(6) 関係団体との連携

花しょうぶ祭り実行委員会の一員として、砺波市、砺波市観光協会、砺波商工会議所、地元自治振興会等の関係団体と連携をとり、祭りの開催の内容等を検討した。

(7) 施設・設備の維持管理

適切に維持・管理されている。

(8) 危機管理・安全管理などの取組み

花しょうぶ田木道の整備、遊歩道及び管理道沿いの枯損木を処理し、利用者への安全確保に努めた。また、遊歩道の刈払いを行い、利用しやすい遊歩道の維持に努めた。

10 所管課の管理運営確認状況

- ① 定期報告の受理
- ② 維持管理・運営状況等の担当職員現地確認
- ③ 個人情報に関するトラブルの有無
- ④ 危機管理・安全管理上のトラブルの有無

有/無	回数(有の場合)
有	12
有	32
無	—
有	1

【トラブルの具体的内容と対応】

管理道ヒヨドリ線で、7月に道路陥没が発生し、一部通行止めとなり周遊性が損なわれた状態にある。現在、砺波農林振興センターで復旧に向けて対応中である。

11 今後の課題等 (収入確保、経費削減、サービス維持向上等の観点から今後の課題を記載)

- ・新型コロナの影響が薄まりつつあり、今後、再び多くの方に来園していただけるよう、利用者ニーズを的確に把握し、魅力あるイベント、展示・ブログ等での自然情報発信や接客サービス向上に取り組んでいただきたい。
- ・森林を生かした休養・レクリエーションの場として、多くの県民に安全で良好な状態で施設が利用できるよう、引き続き施設の巡視等に取り組む必要がある。
- ・木製遊具が更新の時期に近づいており、対応等を検討していく必要がある。